

## 放射線科コース

### 1 放射線科後期研修プログラムとは

初期臨床研修プログラム終了後、放射線科専門医資格取得のための研修を含む、より専門的な研修。

### 2 研修目標

全身にわたる画像診断及び放射線治療の基礎的知識ならびに応用技術の修得。

CT、MRI など種々の画像診断、放射線治療における全身管理を中心に研修。

臨床各科にまたがる広範な領域に及ぶ各種画像診断の概略を把握するとともに放射線治療を学び、放射線医学に関する基本的な知識や技術を身につける。

基本的なことは自らの判断で行動でき、且つ他科からの相談に答えることができる独立した放射線科医として役割を果たせるようになるのを目的とする。

画像診断に関する研修は放射線部で実施し、放射線治療、放射線の管理を放射線科で研修する。

### 3 放射線基礎医学の知識の修得

①指導医のもとで、放射線医学の基礎となる放射線の性質、物質との相互作用、生体への作用、画像の成り立ちなどの知識を再度整理する。

②放射線の影響を考察し、放射線防護、安全取扱い法と管理（法的規制も含めて）について理解する。

### 4 画像診断（核医学診断も含む）における知識と技術の修得 → 放射線部で研修

### 5 放射線治療における知識と技術の修得

①指導医のもとで放射線治療の役割・適応について理解する。

②実際に放射線治療を立案・実施する。

③放射線治療中の患者管理を学ぶ。

治療装置はリニアック 1 台、ラルス 1 台（密封線源装置）。リニアックは 4MV・10MVX 線の dual エネルギー発生、6・8・10・12・14・15MeV の電子線を発生することができ、リニアック専用の CT とオンラインで結ばれている。

(1) 癌集学的治療と放射線治療適応の理解。

(2) 一般的な悪性疾患についての病態、治療法、治療成績の理解。

(3) 患者の診察、放射線治療計画から放射線治療実施までの研修。

(4) 放射線による正常組織の反応と障害について理解し、対応のしかたを学ぶ。

### 6 本院の放射線科関連 学会認定、施設認定

日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関

日本核医学会専門医教育病院

## 7 専門医取得

放射線科専門医資格は、一次試験：放射線診療全般（診断、核医学、治療）、二次試験：（診断・核医学、あるいは治療のどちらかの専門を選択）合格後に取得できる。

① 放射線科専門医試験受験資格（現在、制度変更手続中）

② 日本核医学会専門医受験資格

①②とも放射線部での一定期間の研修が必要

◇ 研修定員 2名